

# ペンシルバニア州立大学との教育交流および研究交流

## 1. 交流の内容

本学にとって重要な協定校の一つであるアメリカ合衆国ペンシルバニア州立大学(以下 PSU) の日本研究科と茨城大学人文学部および留学生センターを中心とした 2 大学間の教育(教員) と学生の交流事業を行う。従来 PSU とは 1 年間の学生相互留学制度を実施していたが、本事業は単なる学生の交換留学ではなく、双方の大学が入念な事前準備を行った上で、従来の学生交流をさらに深化・発展させ、双方の大学の授業の交流レベルまで推し進める取り組みである。本学の第 2 期中期計画重点目標「積極的に国際交流を行い、留学生の受け入れと派遣および研究交流を促進する」という教育の国際化に貢献する内容となっている。

## 2. これまでの経過と今後の日程

### これまでの経過

このプロジェクトは PSU が 3 年前に、国際交流基金 (Japan Foundation ) に助成金の申請をしたことに始まる。プロジェクトの名称は Global Japan Project で、日本の歴史、文化等を総合的に研究・教育するプロジェクトである。その協力校として茨城大学に依頼があり、3 年前から準備を進めてきた。本年 3 月に助成金の申請が許可されたとの通知が PSU から届き、プロジェクトが本格的に始動することになった。国際交流基金 (Japan Foundation ) から獲得した助成金で日本への渡航費、滞在費等すべてを賄う。基本的に 3 年間(2013, 2014, 2015 年) の教育交流及び学生交流を実施する計画である。PSU の教員が必ず 1 名引率者として同行することが前提となる。

### 日程と具体的な内容

2013 年は準備期間と位置付ける。具体的な交流活動は 2014 年春から開始する。まず PSU の学生が 5 月に約 10 日間の予定で 10~20 名程度来日し、茨城大学の授業に出席する。また日本の社会と文化への理解を深めるためにフィールド・トリップを導入する。同時に茨城大学学生との相互交流等の活動を行う。午前中、日本文学、日本史、日本語等の日本関係の授業および総合英語の授業にアシスタントとして参加する。午後は偕楽園、博物館、歴史館、六角堂、秋葉原等へのフィールド・トリップを組み入れる。週末に日本の家庭にホームステイし、日本の平均的な家庭の生活を体験する。なお PSU からの参加予定学生は日本文化、日本語の学習者が中心となる。2014 年 10 月には 10 名程度の茨城大学学生が 10 日間の日程で PSU を訪問する。ただし国際交流基金は日本の学生に対する支出は許可していないので、茨城大学学生が PSU を訪問する場合は自己負担となる。学生は PSU において関心に応じて様々な授業に出席し、アメリカのキャンパス・ライフを体験することに

よって異文化への理解を深める。茨城大学学生の PSU における授業参加にあたっては、関係する授業担当者にその旨を周知徹底していただくことになっている。茨城大学からは必ず引率教員 1 名を配置する。2015 年も基本的には 2014 年と同様の計画を実施する。

### **3. 教員の交流**

- ① PSU の日本関係の教員が茨城大学において 4～5 日間の集中講義を行う。
- ② 茨城大学の教員がリサーチ等で PSU を訪問する際は、滞在ための便宜、および図書館利用等の便宜を図る。